



DIGITAL PHOTO PRINTER

DP-QW410

取扱説明書

Version 1.0.5

安全上の注意に関して

使用上のご注意や安全上のご注意等、安全に関する本書が作成された時点での基準に応じた内容となっておりますのでご了承ください。

改造に関して

ご購入後の製品について安全の為、改造することを禁止します。

著作権に関して

この製品に付属する文書、プログラム等に関する著作権、商標権その他一切の知的財産権は大日本印刷株式会社またはその他の権利者に帰属しています。適用法令上許容される場合を除き、大日本印刷株式会社の承諾を得ることなく、これらを複製等して使用することはできません。

目次

はじめに	4
安全にお使いいただくために	4
設置上の注意事項	7
プリンターのセットアップ	8
梱包内容の確認	8
各部の名称	9
電源コード、パソコンの接続	10
メディア(リボン、用紙)について	11
メディア(リボン、用紙)のセット方法	12
ペーパートレイのセット方法	17
ペーパートレイの組み立て方	18
用紙クズの捨て方	19
トラブルシューティング	20
エラー表示	20
不具合時の対処法	21
用紙が詰まったとき	21
用紙を手前(ペーパーホルダ側)に引き出せないとき	23
リボンが引き込まれたとき	23
プリンター本体のON/OFFスイッチがOFFの状態で作業を進めたとき	24
用紙カットが途中で止まってしまったとき	24
印画中に電源が切れたとき	24
クリーニング	25
プラテンローラ	25
サーマルプリントヘッド	26
再梱包方法	27
仕様	28

はじめに

お買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本書は、本機をお使いいただくために必要な取り扱いと操作について説明しています。

ご使用前に本書をよくお読みください。

特に「安全にお使いいただくために」(4～6 ページ) は、必ずお読みいただき、正しくご使用ください。

安全にお使いいただくために

ご使用前に必ず本書をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときに読み直せるようにしてください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱い方をして生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

 警告	この表示を守らずに誤った使い方をすると「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を示します。
 注意	この表示を守らずに誤った使い方をすると「障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示します。

■記号表示について

表示されている記号には、次のような意味があります。

	この記号は警告、注意を促す内容があることを告げるものです。 この記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
	この記号は禁止する内容があることを告げるものです。 この記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
	この記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。 この記号の中には具体的な内容が書かれています。

警告

	- 表示された電源電圧、周波数以外の電圧で使用しないでください。誤って接続すると感電や火災の原因になります。 - タコ足配線、延長コードの使用は避けてください。コンセント部が異常発熱して火災の原因になります。 - 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。 - 空気が塩分や腐食性ガスを含んでいるような場所に置かないでください。火災の原因になります。 - 製品の通気口をふさがないでください。製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。 - 製品の上に乗ったり、重いものを乗せたりしないでください。また、ボタンやスイッチ、入力端子などに無理な力を加えないでください。製品が破損したり、お客様や他の方々ケガをする原因になります。 - 製品が入っていた袋はお子様の手の届かない場所に保管してください。かぶると窒息の恐れがあります。 - 製品のエッジ部で身体や他の物を傷つけないようご注意ください。 - 人命にかかわるような用途(たとえば医療機器、宇宙機器、航空機など、極めて信頼性の要求されるもの)ではご使用を避けてください。
	- 本機は約 5.8 kg あります。製品を移動するときは、体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、ケガをする恐れがあります。 - 製品は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを簡単に外せるようにしてください。 - 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取ってください。感電やショートの原因になります。 - 万が一、金属、液体などの異物が製品内部に入った場合や、発煙、異臭などの異常状態が見られる場合は、すぐに電源コードをインレットから抜いたうえでサービス実施店に連絡してください。製品が故障したり、不具合のまま使用し続けしないでください。感電、ショート、火災や故障の原因になります。 - AC 入力 は 100-240 Vac 範囲内の正弦波を入力してください。矩形波や疑似正弦波は内部回路を壊したり寿命を著しく低下させたりします。
	アースプラグを確実に取り付けてください。漏電し、火災や感電の原因になります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
	製品内部を開けたり、内部の部品を分解したり、改造したりしないでください。感電や火災、ケガ、または故障の原因になります。製品内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。

注意

	• 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電、または故障の原因になります。 • 不安定な場所に置かないでください。製品が転倒して、お客様や他の方々がケガをする原因になります。 • 製品の中に異物を混入させないでください。感電、ショート、火災や故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源コードをインレットから抜いたうえでサービス実施店に依頼してください。 • 印画中にトップドアを開けたり、クズ箱を取り外さないでください。故障の原因になります。 • 製品に液体や薬剤などをこぼしたり、吹きかけないでください。 • カバーを清掃する場合、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系溶剤や化学ぞうきんなどを使用しないでください。変色、変質の原因になります。
	• プリンター内部のエッジや、用紙のエッジ部でケガをしないように注意してください。 • 詰まった用紙の除去やクリーニングのためプリンター内部に手を入れる場合は、手を傷つけないように手袋(毛羽、粉のないもの)を着用してください。 • 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分の掃除をしてください。ほこりがたまると、火災の原因になります。 • 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。 • 輸送機器(列車、自動車、船舶など)にご使用をお考えの際は事前に販売窓口までご相談ください。 • 製品、付属品、梱包材、メディア(用紙、リボン)を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。
	• 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災や感電の原因になります。 • 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 • 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災、故障の原因になります。
	• 注意：マーク付近の部品が高温になります。動作中または動作直後は手を触れないでください。触るとやけどをする恐れがあります。
	• 駆動部に触れないでください。駆動部に指が挟みこまれ、ケガをする恐れがあります。
	• 用紙排出口部分にカッターがあります。この部品に触れると怪我をする可能性がありますので、指を入れないでください。 • 印画中に用紙排出口を覗きこまないようにしてください。用紙の先端が目には刺さりケガをする恐れがあります。 • 印画中に用紙に触れないでください。紙のエッジでケガをする恐れがあります。

電波障害について

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

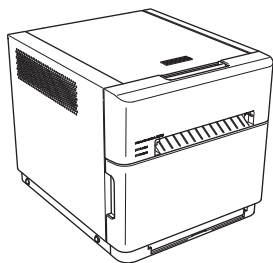
設置上の注意事項

- 本機の使用にあたっては「安全にお使いいただくために」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- 火気や水気のある場所、直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具の近くなど、温度の異常に高い場所、低い場所、湿気やほこりの多い場所でのご使用、保管はしないでください。
- 実験室など化学反応を起こすような場所に設置しないでください。
- 空気が塩分や腐食性ガスを含んでいるような場所には設置しないでください。
- プリンター本体は水平で安定した卓上で通気性のよい所に設置してください。
- 本機の上に物を載せないでください。
- ラジオやテレビの近くで使用したり同じコンセントを使用したりすると受信障害の原因となることがありますので注意してください。
- 指定された電源電圧、周波数以外で使用しないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり踏んだりしないでください。
- 電源コードまたはUSBケーブルを持って本体を引っ張ったり、持ち運びをしないでください。
- 電源コードのタコ足配線は避けてください。
- 電源コードを束ねて使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- USBケーブルの取り付けや取り外しを行うときは、必ず電源コードをインレットから抜いてください。
- USBケーブルを長く配線したり、ノイズの多い機器と接続したりすることは極力避けてください。やむをえず配線するときは信号ごとにシールド線、ツイストペア線などを使用するよう十分な対策をしてください。
- USB2.0仕様に適応したシールド付きUSBケーブルを使用してください。
- 機器の近くにコンセントがあり、かつ、そのコンセントから電源プラグを抜き、簡単に電源を遮断できるような場所に設置してください。
- コンセントは、アース付き3端子コンセントを使用してください。感電の恐れがあります。
- 電源コードが付属されている地域の方は、本製品に同梱された電源コードセットをご使用ください。本製品以外で使用しないでください。
- ポータブル電源を使用される場合、ポータブル電源の取扱説明書をよく読み、ポータブル電源は必ず接地してください。感電の危険性があります。
- ネットワークプリンターとしての使用は想定していません。ネットワークに接続して使用される場合は、お客様の責任をお願いします。
- この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適しません。小さなお子様が手の届かないところで、設置、保管、使用をしてください。

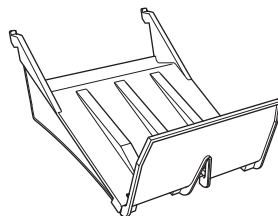
プリンターのセットアップ

梱包内容の確認

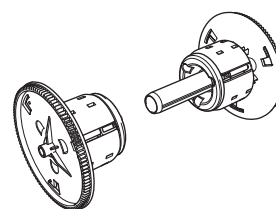
プリンター本体と下記の付属品がすべてそろっていることを確かめください。



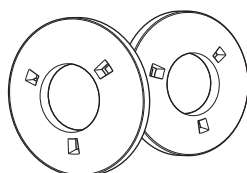
プリンター本体



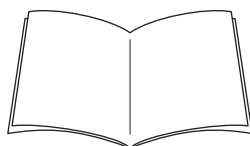
ペーパートレイ
(4 × 6、4.5 × 6 専用)



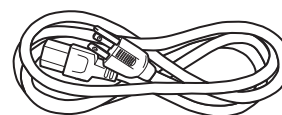
ペーパーホルダ
※ プリンター本体にセットされています。



4 inch スペーサー
※ ペーパーホルダにセットされています。



説明冊子
・安全にお使いいただくために
・スタートアップガイド



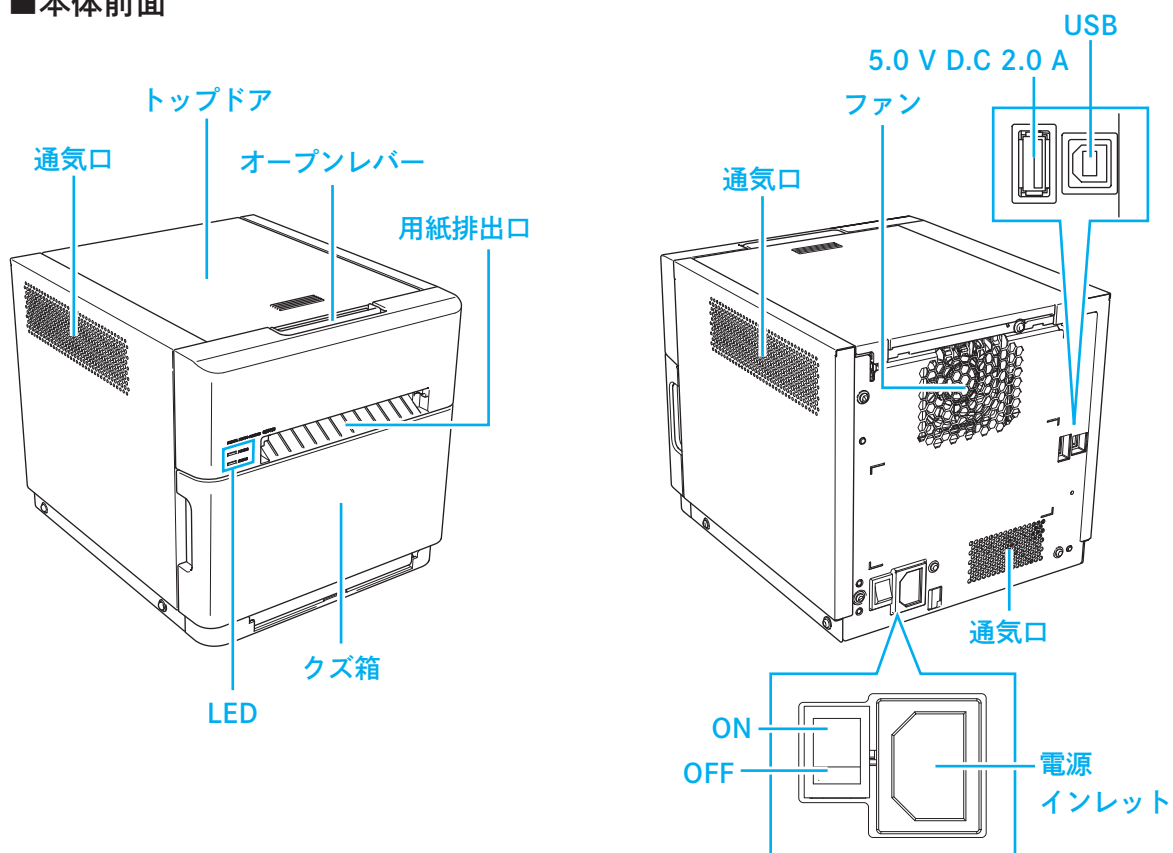
電源コード
※ 電源コードの付属の有無は仕向けにより異なります。

⚠ 注意

- 本機の移動、持ち運び、梱包箱からの本機を取り出しの際は十分注意して行ってください。落下させると身体や、他の物を傷つける恐れがあります。
- 梱包材を持ってプリンター本体を取り出すと、クッションが割れてプリンター本体が落下する恐れがあります。
- ペーパーホルダとスペーサーの間に指などをはさまないように注意してください。ケガをする恐れがあります。

各部の名称

■本体前面

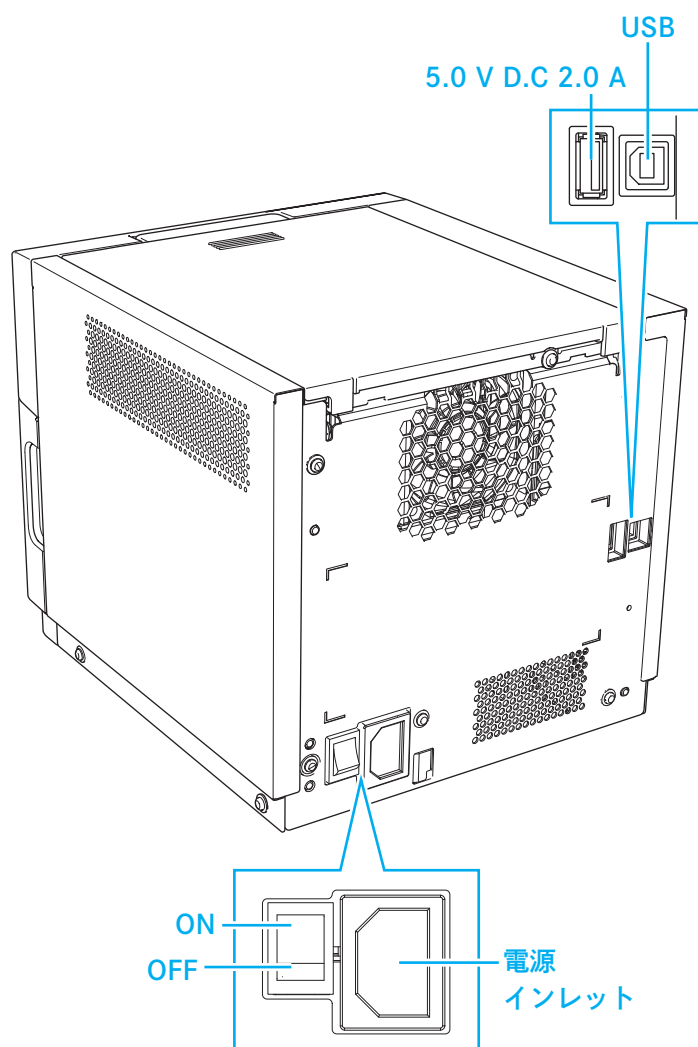


⚠ 注意

- 製品のエッジ部で身体や、他の物を傷つけないように注意してください。

電源コード、パソコンの接続

- 1 プリンター本体のON/OFFスイッチがOFFになっていることを確認します。
- 2 パソコンの電源がOFFになっていることを確認します。
- 3 電源コードのコネクタ側をプリンター本体の電源インレットに差し込みます。
- 4 電源コードのプラグ側をコンセントに差し込みます。
- 5 USBケーブルでプリンター本体のUSBコネクタとパソコンを接続します。
- 6 プリンター本体のON/OFFスイッチとパソコンの電源をONにします。

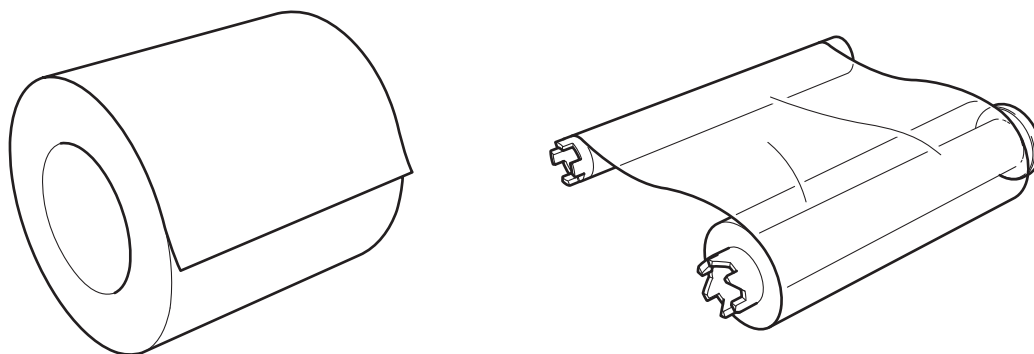


⚠ 注意

- USB2.0仕様に適応したシールド付きUSBケーブルを使用してください。予期せぬ不具合が発生する恐れがあります。

メディア(リボン、用紙)について

以下の幅のメディア(用紙、リボン)をご用意ください。



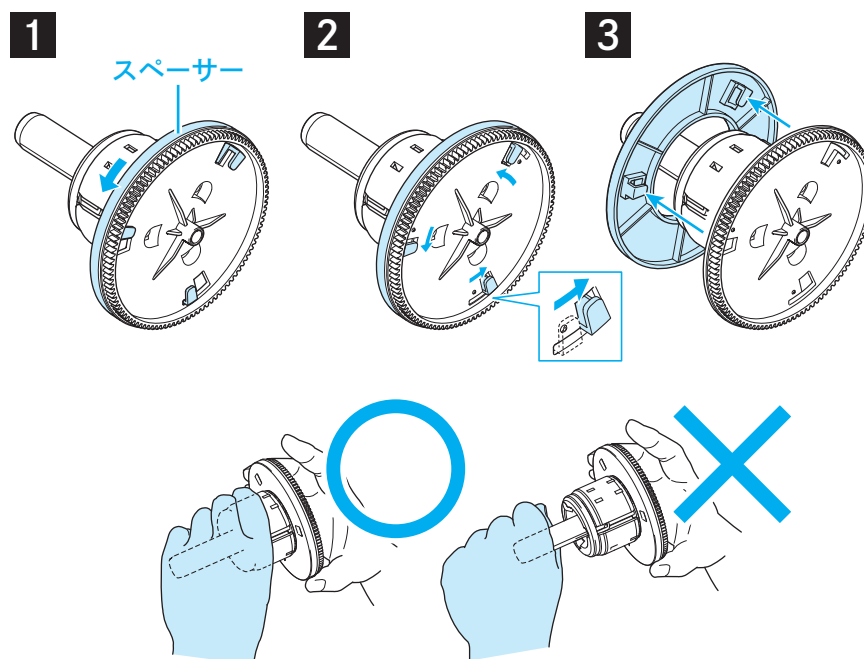
サイズ	用紙	リボン
4 inch	102 mm 幅	109 mm 幅
4.5 inch	114 mm 幅	121 mm 幅

⚠ 注意

- メディア(用紙、リボン)を直接機の上などに置かないようにセットしてください。付着したほこりがプリンター本体内部に入り、印画品質を損なう場合があります。

スペーサーの外し方

4.5 inch の用紙を使用する場合は、ペーパーホルダに取り付けられたスペーサーを外してください。

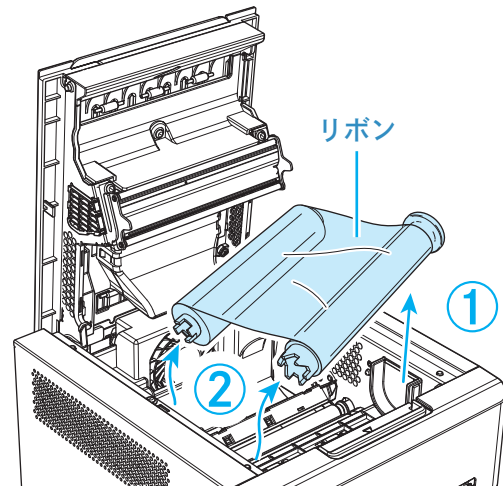
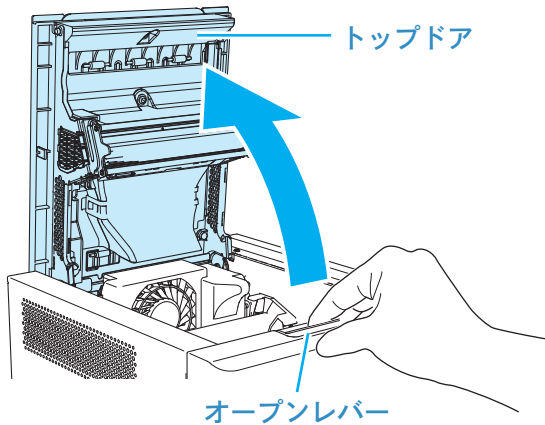


⚠ 注意

- ペーパーホルダとスペーサーの間に指などをはさまないように注意してください。ケガをする恐れがあります。

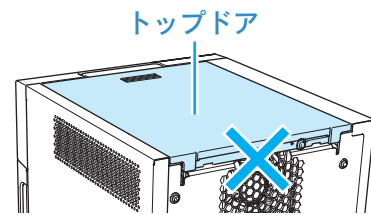
メディア(リボン、用紙)のセット方法

- 1** オープンレバーを手前に引いて、プリンター本体のトップドアを開けます。
リボンを取り外します。

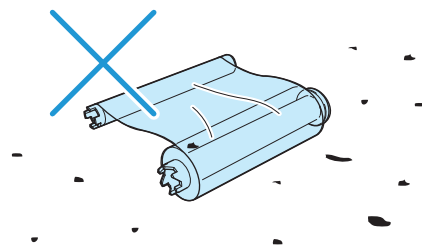
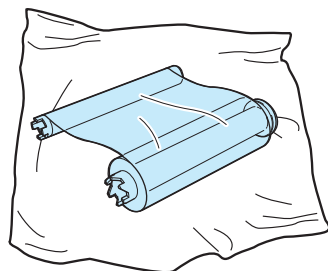
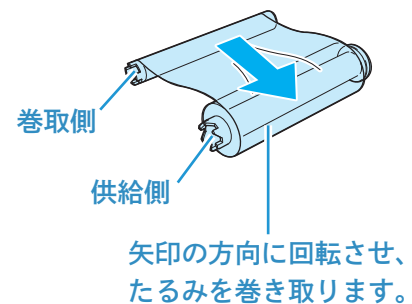


⚠ 注意

- トップドアを開けた際、トップドアの背面と本体の隙間(右図)に手を挟まないよう注意してください。ケガをする恐れがあります。
- 印画してしばらくの間はサーマルヘッドが熱くなっています。やけどの恐れがありますので、手を触れないでください。
- リボンのセットと取り外しの際は、時計、アクセサリなどをサーマルプリントヘッドに接触させないように注意してください。接触すると、サーマルプリントヘッドが破損する恐れがあります。



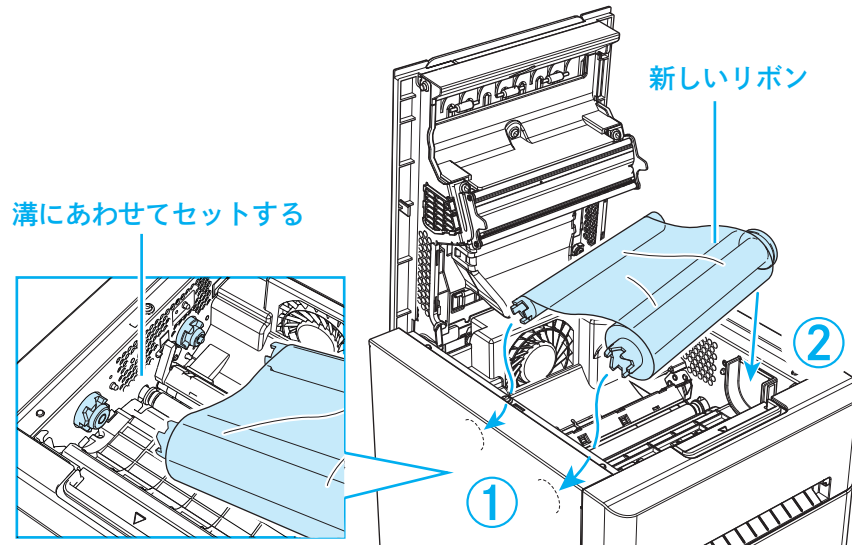
- 2** 新しいリボンをセットします。



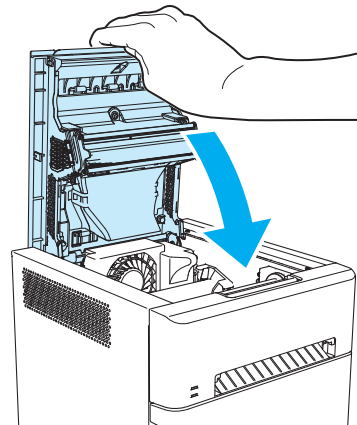
⚠ 注意

- リボンは包んであった袋の上でセットしてください。机や床の上に直接置かないでください。

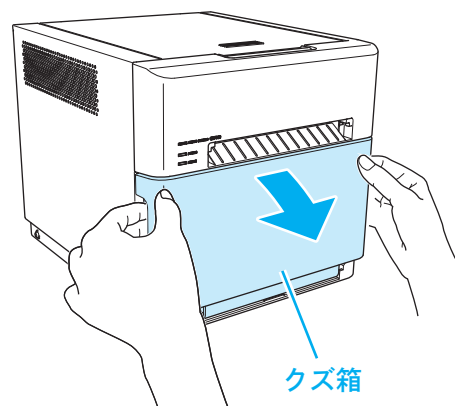
- 3** プリンター本体にリボンをセットします。
リボンシャフト左側①を溝に合わせてから、リボンシャフト右側②を下げます。



- 4** プリンター本体のトップドアを閉じます。



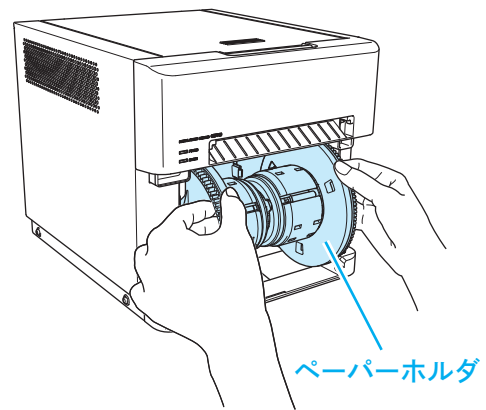
- 5** プリンター本体のクズ箱を取り外します。



⚠ 注意

- クズ箱を外した状態のときには、上部にあるカッターに指を入れないでください。切断の恐れがあります。
- 色補正、種類検出、印刷枚数管理のため、リボンにICチップを内蔵しています。評価、認定されたICチップを内蔵したリボン以外は正常動作を保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。(ICチップから正しいデータを読み取れない場合は警告音が鳴ります。この場合、本機保護のため濃度を低くして印画します。)

6 プリンター本体からペーパーホルダを取り外します。



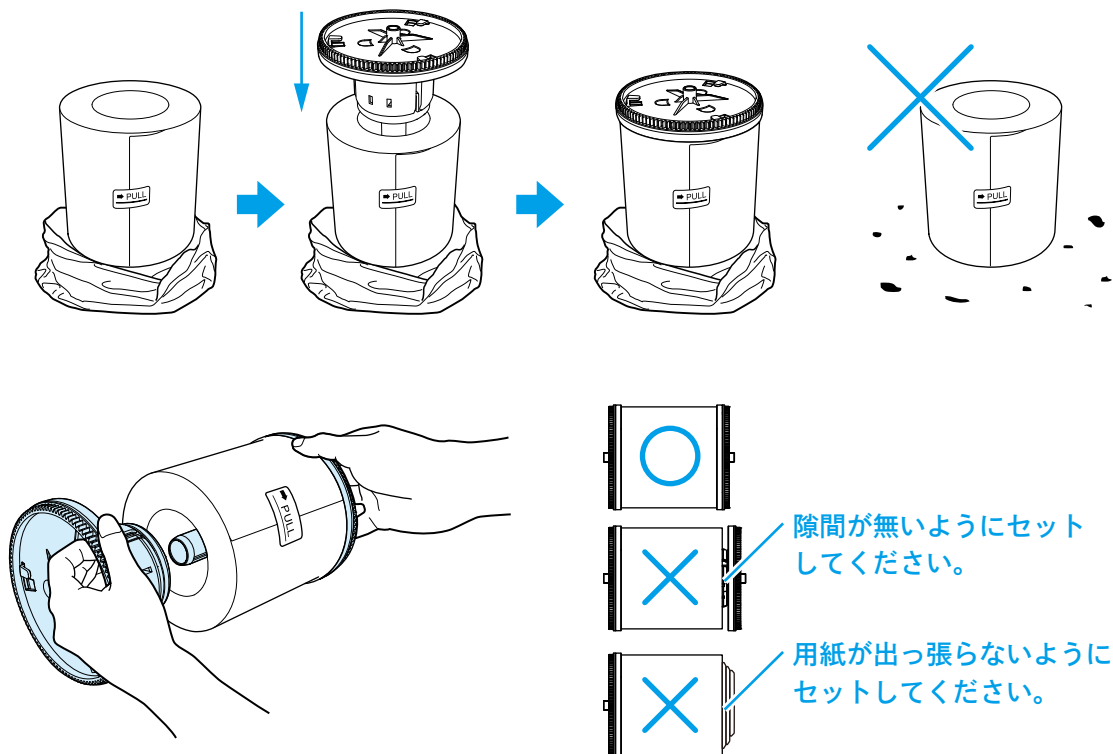
! 注意

- 取り外したペーパーホルダは直接机の上などに置かないでください。付着した異物やほこりがプリンター本体に入り、印画品質を損なう場合があります。

7 ペーパーホルダから古い用紙を取り外し、新しい用紙を隙間が無いようにセットします。
用紙が出っ張ってしまった場合は、ペーパーホルダから外し、用紙端面をフラットにしてください。

! 注意

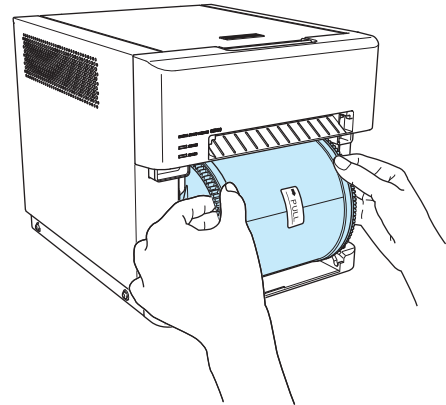
- 用紙は包んであった袋の上でセットしてください。机や床の上に直接置かないでください。



⚠ 注意

- ペーパーホルダに新品用紙をセットした場合、約1 kgあります。落下するとケガをする恐れがあります。また、ペーパーホルダが破損する恐れがあります。

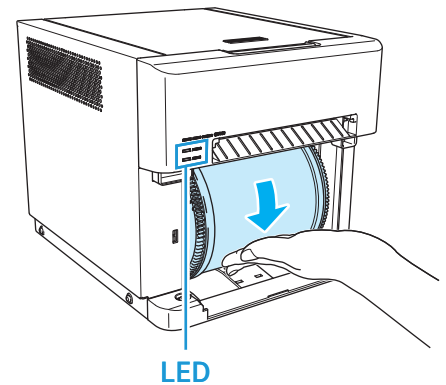
- 8** プリンター本体にペーパーホルダをセットします。
用紙に貼ってあるシール(→PULL)が右記と同じ向きになるようにセットしてください。



- 9** シールを剥がし、用紙に手を添えて、ペーパーホルダを矢印の方向に回転させ、「ピピッ」とブザーが鳴るところまで用紙先端を差し込んでください。
ERROR LEDが赤とオレンジの交互点滅から赤点滅に変わります。

⚠ 注意

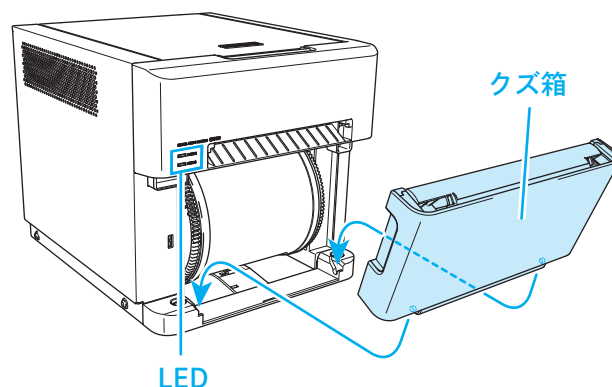
- 用紙に手を添えずにペーパーホルダのみを回転させるなど用紙がたるんでいると、初期化動作が失敗する場合があります。



- 10** プリンター本体のクズ箱を取り付けます。
用紙の初期化動作を行います。(3枚の白紙を排出)
初期化動作では用紙の外周の汚れた用紙を切除します。ただし、用紙交換後にプリンター本体のON/OFFスイッチをONにした場合、初期化動作は行われません。

⚠ 注意

- クズ箱を閉めないエラーとなり、ERROR LEDが赤点滅します。
クズ箱とプリンター本体の間に隙間ができないように、しっかり閉めてください。
クズ箱とプリンター本体の間に隙間ができると、動作不良の原因となります。
また、異物やほこりがプリンター本体に入り、印画品質を損なう場合があります。



クズ箱を外した状態での印画動作はできません。

⚠ 注意

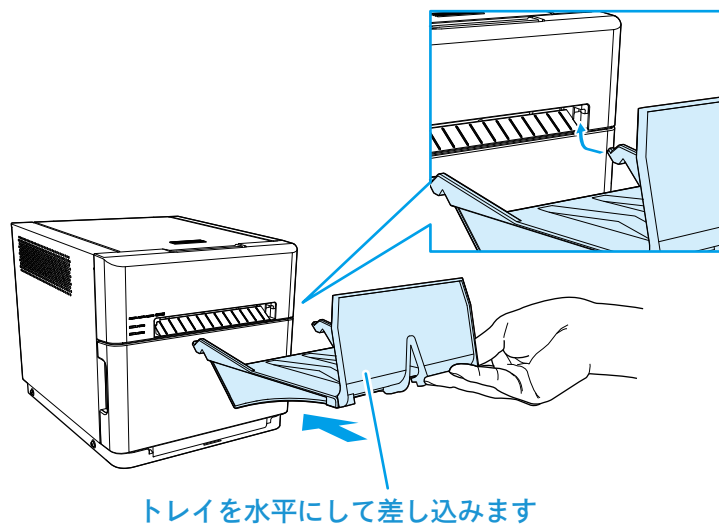
- 印画する場合は必ずクズ箱を装着してください。駆動部が回転し、指が挟みこまれケガをする恐れがあります。
- 4 inchと4.5 inchのように、同じプリンターで幅の異なるメディアが使われた場合、プリント品質上の問題(印画範囲内に線が発生する等)が生じる場合がありますので、1台のプリンターで幅の異なるメディア混在使用は避けてください。
- 用紙交換時は必ず用紙の初期化を行ってください。用紙の初期化を実施しなかった場合、プリント品質上の問題が生じる場合があります。
- 印画中に用紙に触れないでください。紙のエッジでケガをする恐れや、プリント品質上の問題が生じる場合があります。
- 印画中にトップドアの上に物を載せたり、衝撃を与えないでください。プリント品質上の問題が生じる場合があります。

ペーパートレイのセット方法

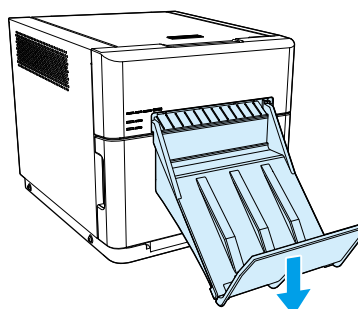
ペーパートレイを使用できます。

用紙は20枚程度ためておくことができますが、こまめに取り除いてください。

- 1** ペーパートレイを本体の用紙出口横にある取り付け部に差し込みます。



- 2** ペーパートレイを下におろし、セットします。



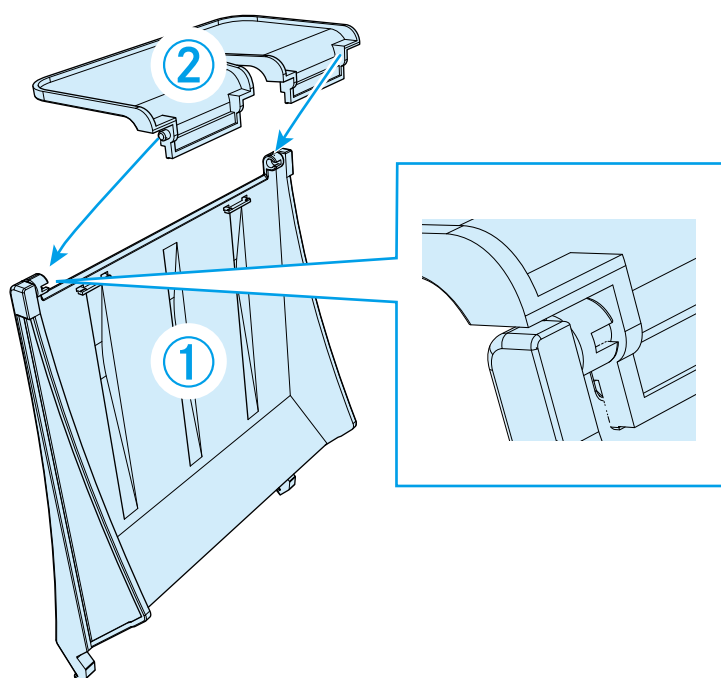
注意

- ペーパートレイに用紙をためすぎるとトラブルの原因となります。
- ペーパートレイに無理な力を加えないでください。破損する恐れがあります。
- ペーパートレイは、4 x 6、4.5 x 6専用です。その他のプリントサイズの出紙はためられません。
- 用紙排出口に印画済みの用紙が巻き込まれないように注意してください。紙詰まりの原因となります。

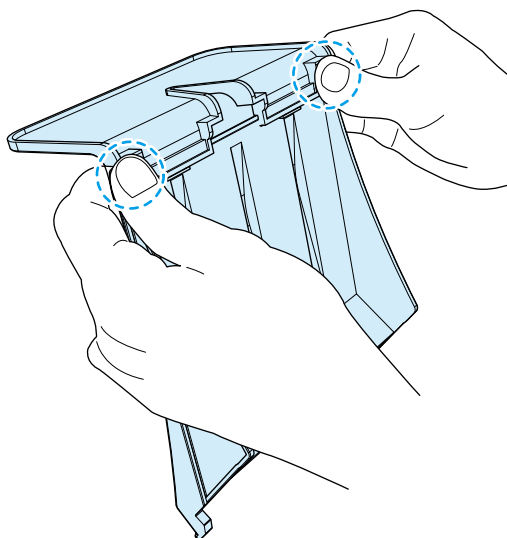
ペーパートレイの組み立て方

ペーパートレイの落下などでトレイ①、②(以下のイラスト参照)が分解してしまった場合、以下の手順で組み立ててください。

- 1** 両方の爪をフックに合わせます。
この時、トレイ①、②の向きに注意してください。



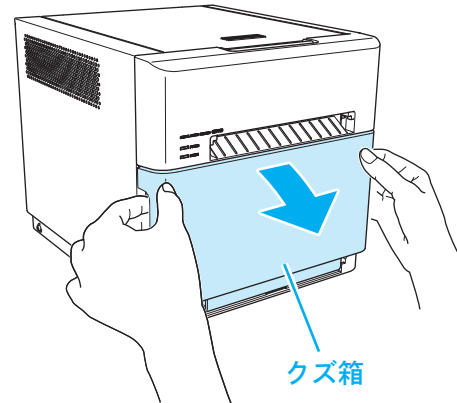
- 2** 爪をフックに押し込みます。



用紙クズの捨て方

クズ箱には用紙のカットで発生した不要な用紙クズがたまっていきます。
用紙クズは用紙交換時に必ず取り除いてください。

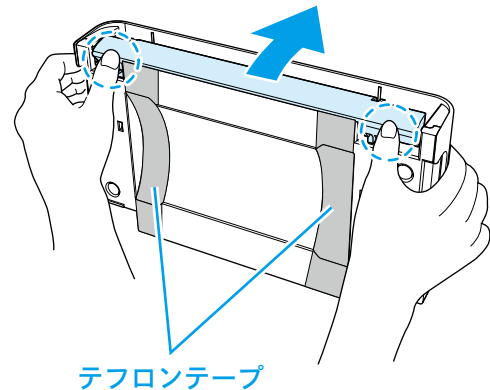
- 1** プリンター本体のクズ箱を取り外します。
クズ箱を取り外すと、用紙クズが本体に貼り付いている可能性があります。
その場合は、用紙クズを取り除いてください。



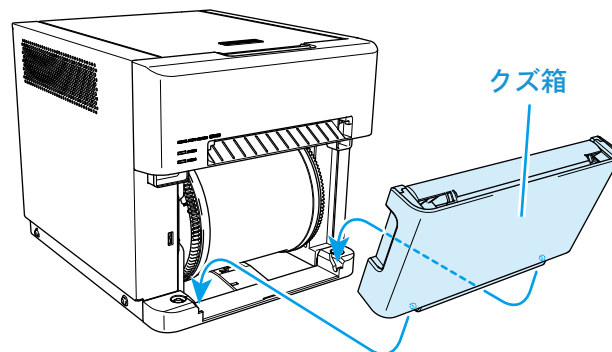
- 2** 用紙クズを捨てます。
クズ箱を取り外すと、上部のふたが閉まっています。
ふたを開けてから用紙クズを捨ててください。
(用紙クズが数枚、クズ箱に残る場合があります。)

⚠ 注意

- テープは絶対に剥がさないでください。



- 3** プリンター本体のクズ箱を取り付けます。



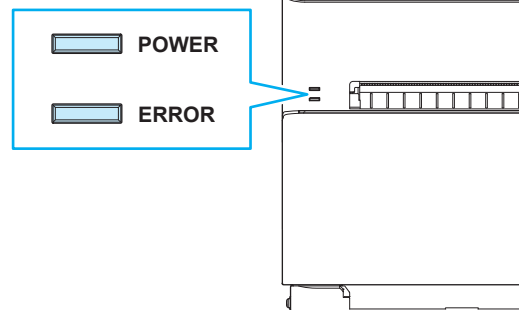
⚠ 注意

- 印画動作中はクズ箱を取り外さないでください。トラブルの原因となります。
- クズ箱を外したときに、上部にあるカッターに指を入れないでください。切断の恐れがあります。
- 用紙クズがいっぱいになるとトラブルの原因となります。

トラブルシューティング

エラー表示

LEDの表示状態（点灯、点滅、消灯）により本機の状態がわかります。



※  は点灯、 は点滅、 は消灯

LED 表示	状態		対処方法	参照
 POWER  ERROR	ヘッド冷却中		ヘッド冷却中です。自動解除します。	－
 POWER  ERROR	クズ箱 なし	用紙あり	クズ箱およびトップドアを閉めてください。	16 ページ
 POWER  ERROR ↑  ERROR ※ 赤とオレンジの交互点滅	トップドア オープン ※ どちらか一方が オープンした 状態でエラー となります。	用紙なし	用紙を正しくセットしてからクズ箱 およびトップドアを閉めてください。	13 ページ
 POWER  ERROR	ペーパーエンド		新しい用紙をセットしてください。	14 ページ
 POWER  ERROR	リボンエンド		新しいリボンをセットしてください。	12 ページ
 POWER  ERROR	ペーパーエラー		用紙を正しくセットし直してください。	14 ページ
 POWER  ERROR	リボンエラー		リボンを正しくセットし直してください。	12 ページ
 POWER  ERROR	用紙サイズ設定エラー		セットされているメディアのサイズに 合った大きさのデータを送信してくだ さい。	11 ページ
 POWER  ERROR	システムエラー		ON/OFFスイッチを入れ直してくだ さい。システムが復帰しない場合は販 売店にお問い合わせください。	－

不具合時の対処法

1 プリンター本体のトップドアを開けます。

2 プリンター本体からリボンを取り外します。

3 不具合の状態に合わせて対処します。

「用紙が詰まったとき」(☞本ページ)

「用紙を手前(ペーパーホルダ側)に引き出せないとき」(☞23 ページ)

「リボンが引き込まれたとき」(☞23 ページ)

「プリンター本体のON/OFFスイッチがOFFの状態で作業を進めたとき」(☞24 ページ)

「用紙カットが途中で止まってしまったとき」(☞24 ページ)

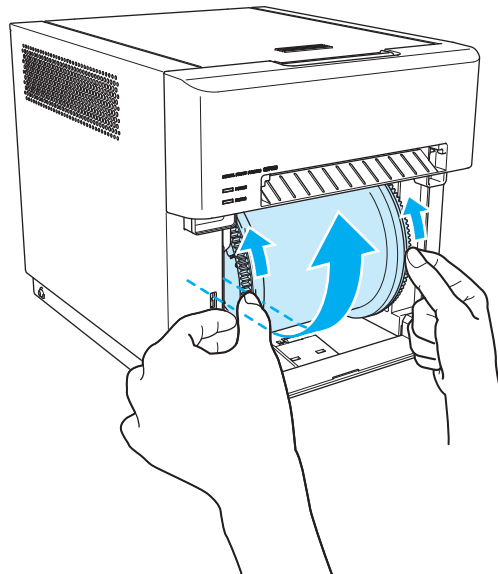
「印画中に電源が切れたとき」(☞24 ページ)

用紙が詰まったとき

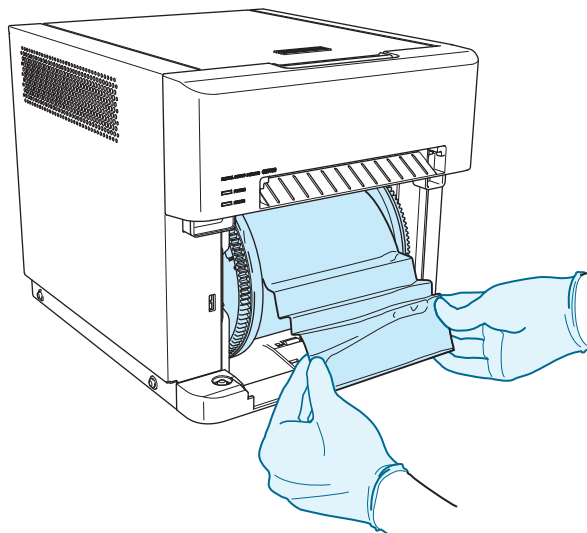
⚠ 注意

- プリンター内部のエッジや、用紙のエッジ部でケガをしないように注意してください。

1 詰まった用紙を手前(ペーパーホルダ側)に引き出します。
ペーパーホルダを、用紙を巻き取る方向に手で回し、巻き取る力で用紙を引き出します。



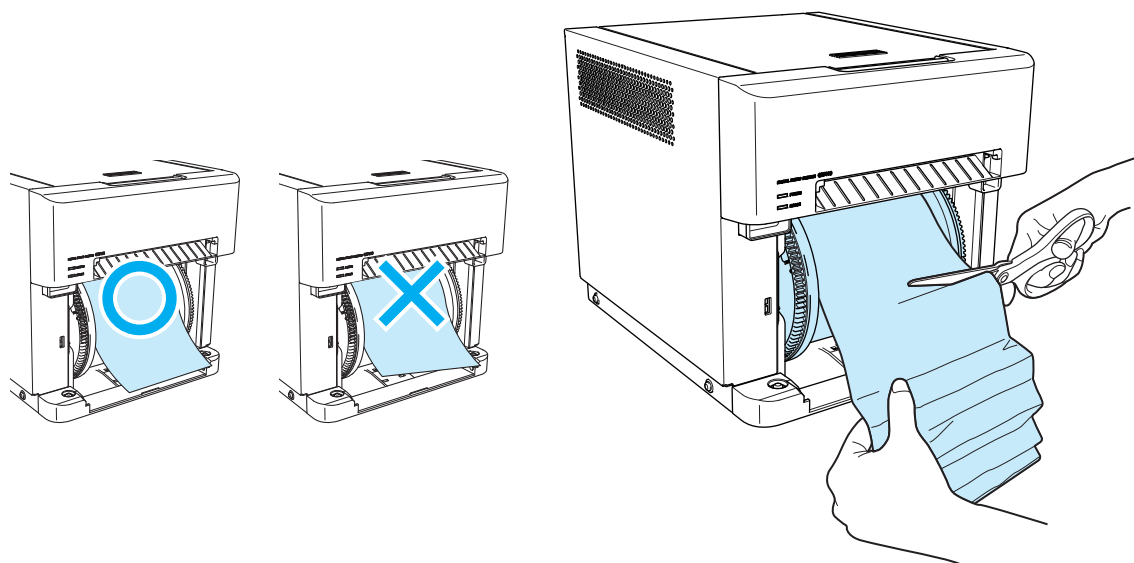
- 2** 用紙端を手前に引き出します。
用紙を引き出す時はゆっくりと引き出してください。
強い力を加えると本機が破損する場合があります。



⚠ 注意

- プリンター内部に手を入れる場合は、手を傷つけないように手袋(毛羽、粉のないもの)を着用してください。
- 詰まった用紙が、強い力を加えないと引き出せない場合は無理に引き出さず、販売店にご連絡ください。強い力を加えると本機が破損する場合があります。

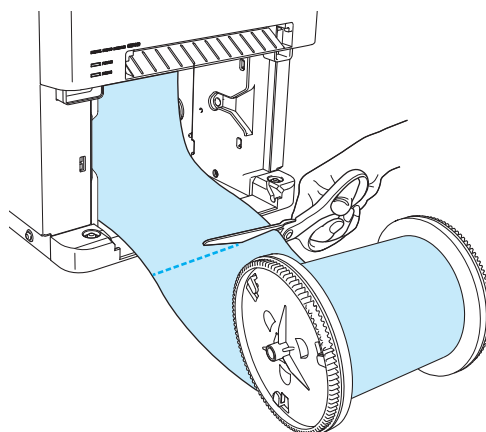
- 3** 印画途中の部分やしわになっているなどの不良部分をはさみで切ってください。
しわや印画部分が残っていると再度紙詰まりを起こします。また、用紙の切り方が水平でないと正常に動作しません。



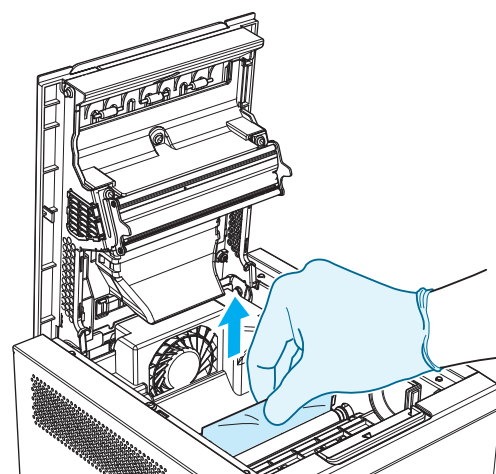
以後、「メディア(リボン、用紙)のセット方法」(P.12 ページ)を参照してください。

用紙を手前(ペーパーホルダ側)に引き出せないとき

- 1 用紙を手前(ペーパーホルダ側)に引き出せない場合は、プリンター本体のトップドアを開けて、以下の要領で用紙を引き出します。
まず、ペーパーホルダを手前に外し、詰まった用紙部分を切り離します。



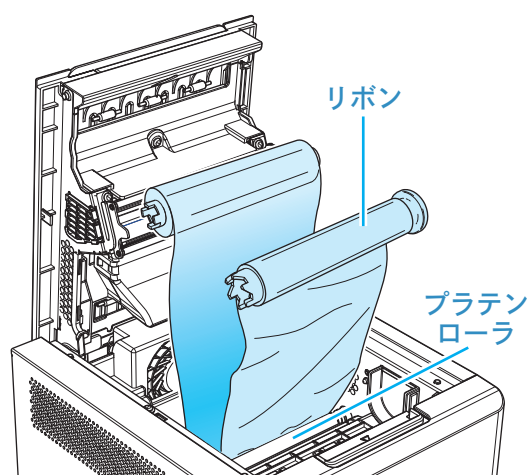
- 2 リボンを外して、手を入れて、用紙先端をつかんで手前(右図矢印方向)へ引き出します。
手を傷つけないように 手袋(毛羽、粉のないもの)を着用してください。



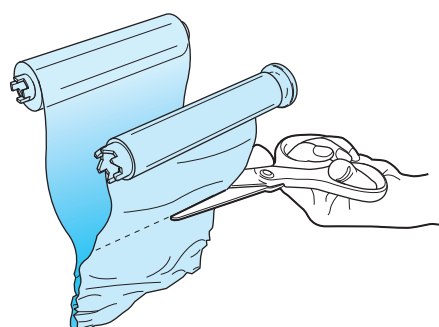
リボンが引き込まれたとき

- 1 オープンレバーを手前に引いて、プリンター本体のトップドアを開けます。

- 2 リボンを引き出します。



- 3 リボンを切ります。
プリンター本体の内部に残っているリボンを丁寧に取り除いてください。

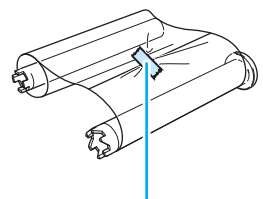


4 テープなどでリボンをつなぎます。

5 リボンの巻取側を回転させ、テープが見えなくなるまで巻き取ります。

6 プリンター本体にリボンをセットします。

7 プリンター本体のトップドアを開めます。



テープで留めます。

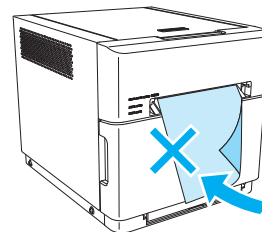
プリンター本体のON/OFFスイッチがOFFの状態で作業を進めたとき

⚠ 注意

- プリンター本体のON/OFFスイッチをONにしてしてから用紙を再度セットしてください。クズ箱を閉めると用紙の初期化動作を行います。(エラーになった際の印画物が排出されます。) 初期化動作を行わないとエラーが解除されません。

用紙カットが途中で止まってしまったとき

1 ON/OFFスイッチをOFFにして再度ONにしてください。
用紙噛み込みを解除し、カッターの刃が待機位置に戻ります。



⚠ 注意

- 用紙噛み込みが解除されない場合は、用紙を無理に引き出したり、引きちぎらず販売店にご連絡ください。強い力が加わるとカッターが破損する場合があります。

2 内部に残った印画途中の用紙を取り除きます。

以後、「用紙が詰まったとき」(☞ 21 ページ)を参照してください。

印画中に電源が切れたとき

印画中に電源が切れてしまうとトップドアが開かなくなります。

1 ON/OFFスイッチをOFFにして再度ONにしてください。
印画途中の用紙をカット屑の長さにカットして除去します。
その後トップドアが開くようになります。

⚠ 注意

- この時、クズ箱は外さないでください。用紙詰まりの原因になります。

2 印画途中の用紙がないか確認します。

用紙がある場合は「用紙が詰まったとき」(☞ 21 ページ)を参照してください。

⚠ 注意

- 印画中にON/OFFスイッチをOFFにしないでください。故障の原因になります。

クリーニング

プラテンローラ

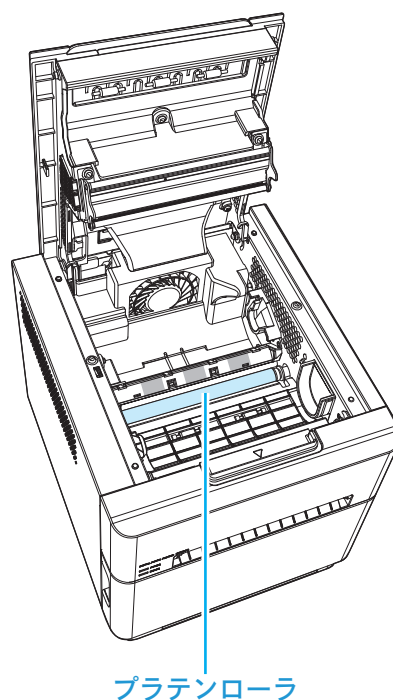
印画物に複数の圧痕（間隔：約 38 mm）が現れたり、印画物の裏面が汚れたりする場合は、プラテンローラのクリーニングを行ってください。

プラテンローラにリボンや記録紙の粉、ゴミ、粘着剤などが付着している可能性があります。

- 1** ガーゼなどの柔らかい布にエチルアルコールを浸み込ませた物を用意してください。
- 2** 「メディア（用紙、リボン）のセット方法」の **1** を行ってください。
- 3** プラテンローラを回しながら汚れを拭き取ってください。

注意

- プリンター内に手を入れる際はクリーニング部分以外に触れないように気をつけてください。
- クリーニング時は、手を傷つけないように手袋（毛羽、粉のないもの）を着用してください。

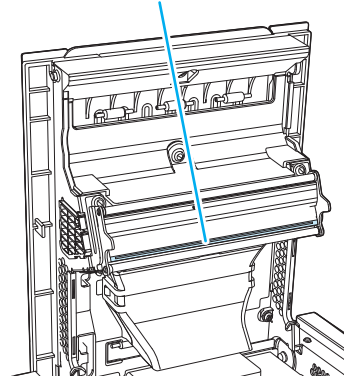


サーマルプリントヘッド

サーマルプリントヘッドに汚れが付着している場合は印画ムラや印画抜けが発生することがあります。

- 1** ガーゼなどの柔らかい布にエチルアルコールをしみ込ませた物を用意してください。
- 2** サーマルプリントヘッドに直接手で触れないようにして優しく拭いてください。
初めに目視でサーマルプリントヘッドの位置を確認してからクリーニング部分だけを拭いてください。
- 3** 改善しない場合は研磨シートで拭いてください。
推奨研磨シート：
Mipox株式会社製 研磨シート GC10000-75 FEY-A

サーマルプリントヘッド



注意

- エチルアルコール以外のベンジン、シンナーなどは樹脂を侵す危険性があるため、絶対に使用しないでください。
- クリーニングをするときは必ず電源コードをインレットから抜いてください。ケガややけどの原因となる恐れがあります。
- 印画してしばらくの間はサーマルプリントヘッドが熱くなっています。やけどの恐れがありますので、時間をおいてからクリーニングを行ってください。
- クリーニングをするときは時計、アクセサリなどをサーマルプリントヘッドに接触させないよう注意してください。接触すると、サーマルプリントヘッドが破損する恐れがあります。

再梱包方法

修理等で本機を輸送する場合は、純正の梱包材を使用してください。購入時と同じ状態に梱包する必要があります。

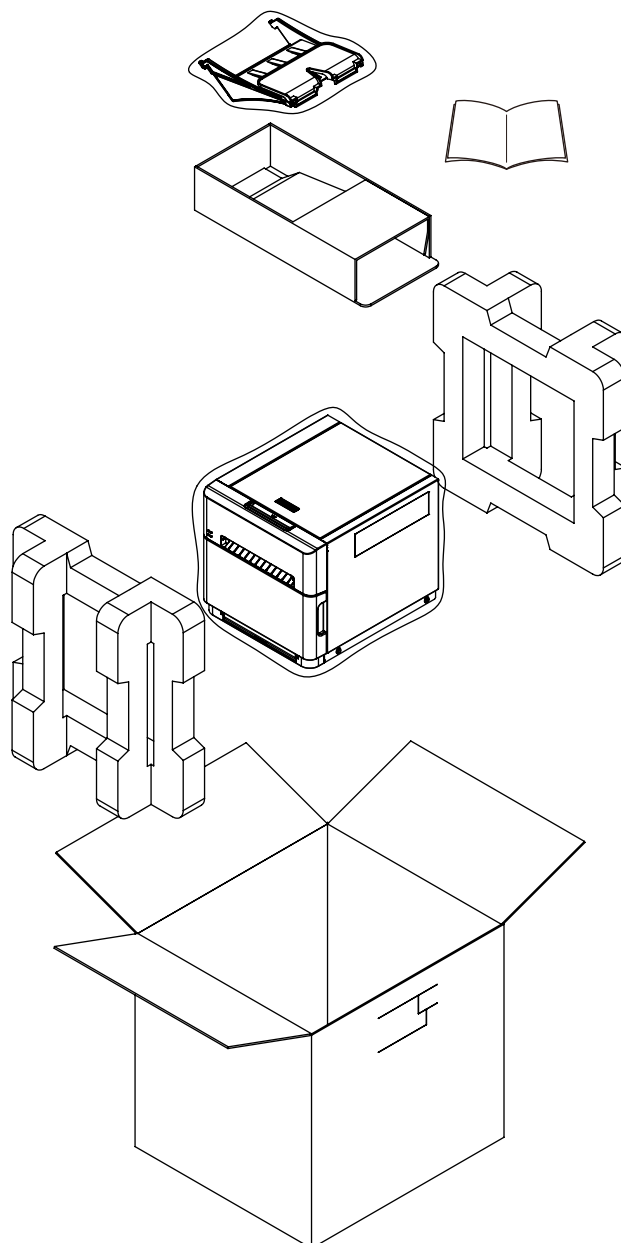
純正の梱包材を使用しなかったり、正しく梱包しないで輸送するとプリンターが壊れる恐れがあります。

付属品（メディア、電源コード、用紙トレイ）はプリンター本体から取り外してください。

梱包材や取り外したシートは輸送時に必要になりますので、捨てずに保管しておいてください。

クズ箱の中身は空にして輸送してください。

輸送中にクズがプリンター内に入り込み、故障する恐れがあります。



※ 付属品はアクセサリ箱の中へ入れてください。

仕様

機種		DP-QW410	
プリント方式		昇華型熱転写方式	
解像度	幅方向	11.8 dot/mm (300dpi)	
	用紙送り方向	11.8 dot/mm (300dpi)	
プリントサイズ		102 mm × 76 mm (4 × 3")	
		102 mm × 102 mm (4 × 4")	
		102 mm × 114 mm (4 × 4.5")	
		102 mm × 152 mm (4 × 6")	
		114 mm × 76 mm (4.5 × 3")	
		114 mm × 102 mm (4.5 × 4")	
		114 mm × 114 mm (4.5 × 4.5")	
		114 mm × 152 mm (4.5 × 6")	
		114 mm × 203 mm (4.5 × 8")	
ペーパー / インクリボン セット枚数		(4 × 6")、(4.5 × 6")	150枚
		(4.5 × 8")	110枚
インターフェース		USB2.0 (最大480 Mbps) TYPE B コネクタ	
外形寸法 (W) × (D) × (H)		208 mm × 240 mm × 198 mm ※仕向けにより形状が異なります。	
重量		約5.8 kg (プリンター本体のみ)	
電源		AC100 V — 240 V 50 Hz/60 Hz	
定格電流		100 V 1.7 A 240 V 0.8 A	
動作環境		温度 5 °C ~ 35 °C 自然対流があること	
		湿度 35 % ~ 80 % 結露無きこと	

※仕様および外観は断りなく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

アフターサービスのご案内

製品の取り扱い方法、修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店またはサービス実施店にご相談ください。

- MEMO -

Dai Nippon Printing Co., Ltd.